

「食べて強くなるうプロジェクト」

広がる! 食とスポーツのつながり

食育への新しい架け橋

スポーツチームが新しい形で地域の食と農に関わる取組が広がっています!

地域の農作業の支援を通じた食育

“那須ブラーゼン”



食農連携のキーパーソン

那須ブラーゼン 取締役
営業統括マネージャー兼
ホームタウン担当

箕輪 翔太氏

プロフィール
栃木県那須町出身。宇都宮大学卒業後、那須ブラーゼン運営会社のNASPO株式会社に入社。

Q1 那須ブラーゼンは農業についてどんなことに取り組んでいますか?

A 選手が大田原市内の田んぼの稲刈りや農産物の収穫を手伝うなど、農作業に参加することで、地域の農業へのサポートに取り組んでいます。

Q2 選手が農作業をするのですね! 田んぼでは美味しいお米が収穫できましたか?

A はい。収穫したお米は地元のJAと連携し、「ブラーゼン米なすひかり」として販売するなど、チームとして農産物の販売PRにも関わっています。

Q3 子どもたちへの「食育」には、どんな思いで取り組んでいますか?

A これまで、自転車教室などの機会に、給食を子どもたちと共に行いながら食の大切さについて伝えてきました。今後は、農作業にも子どもたちと一緒に取り組み、農業の大切さを伝えていきたいと思っています。

美味しいお米できました!



谷 順成 選手 竹村 拓 選手
新開 隆人 選手 なっちゃん 西尾 勇人 選手

農業も体力勝負ですね!



谷 順成 選手



谷 順成 選手

ごはんをたくさん食べて強くなるぞ!!

いつもお米や果物を美味しく食べているだけでしたが、農家の人たちの愛情がたくさん詰まっていることが分かりました!

